
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 120 号(2023. 1.27)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第120号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、①植栽活動を通じた集落間の交流活動や、農業土木経験者を中心としたメンバーが知識と経験を活かし、集落を越えて自主施工の実施に取り組んでいる組織、②小学校と連携した稲作体験イベントを通じて、農地や用水路の役割を地域の子ども達へ伝える取組が TV 番組に取り上げられた組織について紹介します。女性役員へのインタビューでは、組織立ち上げ時から役員をされている女性や、子どもを保育園に預けられるようになり役員になった移住者の女性が中心となり、次世代に活動のノウハウを引継ぐために新たな取組を目指している事例について紹介します。事務局からは「小学生向けに学習コンテンツを公開！」について紹介いたします。

--第 120 号の目次--

1. 活動組織の紹介

みふね
☆御船中央広域協定運営委員会（熊本県御船町）☆

おおあ
☆大跡地域環境保全組合（岐阜県養老郡養老町）☆

2. 女性役員へのインタビュー

みやぎ
☆宮城地域資源保全の会（沖縄県東 村）☆

3. 小学生向けに学習コンテンツを公開！

～～マンガや動画で農業や農村、農業遺産等について楽しく学びませんか～～

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{みふね}御船中央広域協定運営委員会(熊本県御船町)～ ■

～ 地区概要 ～

本活動組織は、熊本県のほぼ中心に位置し、水と緑豊かな環境の^{みふねまち}御船町で活動している。令和元年度より、6 組織（9 地区）で広域組織を発足した。

活動範囲は、田 219 ha、畑 6ha、農道 20 km、水路 44 km、ため池 2 か所となっている。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本活動組織は、遊休農地の有効活用と景観形成の為にひまわりの植栽を行っています。満開時には、集落間での交流を目的とした「ひまわり鑑賞会&研修会」を開催しています。ひまわりの植栽は3年目となり、試行錯誤しながらも、皆さん楽しんで取り組んでいます。また、今後は地域外の方々にも農村環境に興味を持っていただけるように、「ひまわりミニミニフェスティバル」を計画中です。
- ◎ 老朽化した施設の工事は、農業土木の経験者であるメンバーを中心として、集落を越えた自主施工の実施に取り組んでいます。年齢や業種の違う各地区のメンバーが協力し、その知識と経験を活かし、簡易的な補修から水路の改修等まで様々な工事を行っています。運営委員会の中でしっかりと協議し、工事の際は、地域の農業者にも周知する取組も行っています。
- ◎ 活発な活動を続けていくため、広報活動にも力を入れています。本交付金の取組を周知する看板の設置、各集落の活動や様子を紹介した広報誌やポスターの作成、SNS での情報発信等地域の魅力を幅広く伝えていき、今後の活動強化へ繋げていきたいです。

【御船中央広域協定運営委員会 事務局】

編集担当 SDGs コメント

老朽化した施設を直営施工で改修することは、豪雨などの災害防止と防災意識向上につながることから、目標9(災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する。)、目標 13(気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する。)等に貢献しています。

災害に強い地域づくりに向けた活動を応援します！



ひまわりの種まき



農地等を活用した景観形成



ひまわり鑑賞会&研修会



水路の更新工事
資源向上（長寿命化）



etc.

■ 1. 活動組織の活動紹介 (2) ～^{おおあど}大跡地域環境保全組合 (岐阜県^{ようろうぐん}養老郡^{ようろうちょう}養老町) ～ ■

～地区概要～

本活動組織は、岐阜県の西部に位置し、かつて^{たぎ}多芸^{わじゅう}輪中地域と呼ばれていた海拔0m地帯で活動している。活動範囲は、田 67.3ha、畑 2.2ha、開水路 13.8km、農道 10.5km となっている。

～主な取組～

◎本組織は平成 19 年度から活動を開始しています。
用排水施設の維持管理に関しては、それ以前から積極的に行っており、かつては農業者のみで成り立つ稲作農業地域でしたが、近年では、東海環状道の養老 IC 開通や、野菜工場の進出により、非農家の増加、稲作から野菜栽培へ移行している等、地域を取り巻く環境は急速に変化してきました。

◎このような環境の変化に対応しながら地域の営農を守るため、本組織は農業者以外に、自治会、長寿会、女性の会、子供会等地域全体を巻きこみ、年代を超えた交流を大切にしています。

◎特に、稲作体験を通じて農地や農業用水の役割を伝える地元小学校との交流イベントの様子は毎年ローカルテレビで紹介されています。また、休耕田でのコスモスの植栽は地域の美化意識の向上にもつながっています。

◎年 2 回のかわら版を発行し、地域住民に理解と協力を呼び掛けており、今後も地域自らの力で地域を守っていく活動を展開させていきたいと考えています。

【大跡地域環境保全組合 代表 西脇武敏】



活動計画話し合い状況



幹線水路の法面草刈り活動



小学校の稲刈り体験学習

編集担当 SDGs コメント

水路法面の草刈り活動等の地域資源を保全管理する活動は、安定した農業生産にとって必要不可欠であり、目標2(持続可能な農業生産を支える。)に貢献しています。また、農業者以外の子供会等の地域全体で世代を超えた交流は農村コミュニティの強化へとつながることから目標 11(住み続けられる地域をつくる。)等にも貢献しています。

多様な人材が参画する組織づくりを応援しています！



etc.

■2. 女性役員へのインタビュー ～^{みやぎ}宮城地域資源保全の会(沖縄県^{ひがしぞん}東村)～■

組織の概要

活動範囲：畑 57.23ha、草地 7.72ha

水路 2.5km 農道 19.2km

活動開始時期：平成 19 年

～ インタビュー ～

○話し手 宮城地域資源保全の会

(写真右から) 副代表：(女性) 平安京子さん

書記会計：(女性) 金城宏美さん

書記会計：(男性) 佐藤光春さん

○聞き手 東村役場 農林水産課

○実施場所：宮城公民館



インタビューに協力してくれた方々

Q：役員に女性が就いたきっかけを教えてください。

平安さん：宮城地域資源保全の会は現在三期目にあたり、私は一期目の組織の立ち上げから書記会計として参加し、現在は宮城区の区長をしながら、組織の副代表を務めています。立ち上げの際「ぜひ書記会計をお願いしたい」と声を掛けてもらい、引き受けました。

金城さん：私は四年前、二期目の途中から参加しています。子どもを保育所に預けることができ、時間的にゆとりができたタイミングで声を掛けていただいたので、地域の力になればと思い引き受けました。

佐藤さん：農家の方が多く、かつ住民の多くが高齢者という地域の中で、活動の記録や報告を作成するにあたり、パソコンを扱える存在というのは、非常に貴重な存在だということも、大きな要素だと思います。

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありませんでしたか？

平安さん：特にありませんでした。出身地ですし、抵抗なく引き受けました。

金城さん：私は移住者なので、地域の細かなことや、この活動の内容もほとんど知らなかったもので、多少は抵抗ありました。それでも地域の方から頼りにされていることがうれしかったので引き受けま



U字溝の目地を補修する様子

した。

Q：組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

平安さん：女性という立場としては、やはりできる活動が限られてくることですかね。女性に限らず、若い人たちが少なく高齢者が多い地域なので、女性や高齢者でも参加できる活動をもっと増やしたいと常に考えています。

金城さん：私が一番苦労したのは活動に参加したばかりの頃、地元の方々の感覚が分からなかったことですね。畑の場所や農道も最近は大いぶん分かってきました



赤土対策用の植物を植栽する様子

が、最初の頃は「〇〇さんの畑の～」と言われても全然分かりませんでした。

平安さん：地元の間人でも、最近は地主や耕作者がかわっていることが多く、中には他の区や村外の方の畑もあるので、一年に一度は確認に回るようにしています。

Q：役員として心がけている事を教えてください。

平安さん：区長を兼任している立場ということもありますが、たくさんの方に参加してほしいという気持ちは常にあります。

佐藤さん：近年は新型コロナウイルスの影響もあって、区民が集まる機会が減ったので、直接声を掛ける機会も減っているので、どうやって地域住民を巻き込んでいくか試行錯誤しています。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

平安さん：多くの方に参加してもらうためにまずはこの活動のことを知ってもらうことが大事だと考え、区民だよりの中に多面のコーナーを作り、宮城区全体に発信しています。区民だよりを見て活動のことで声を掛けてくれる方や、楽しみにしてくれている方もいるので、少しずつ効果が表れてきているように感じます。

Q：沖縄本島北部が世界自然遺産に登録されましたが、環境保全のために具体的に取り組んでいる内容を教えてください。

平安さん：農家の多くが東村の特産品であるパインアップルを育てていることもあり、赤土流出防止対策が大きな課題になっていると思います。

金城さん：役場でも対策をしてくれてはいますが、それだけでは賄いきれないので、先人たちの教えを参考に、農家はそれぞれ工夫しながら対策しています。

佐藤さん：多面の活動の中でも、側溝や沈砂池の泥あげや、畑の周囲に赤土対策用の植物を植栽することで、赤土流出の防止を図っています。しかし、この活動がどれぐらいの効果をもたらしているのか、分かりにくい部分があります。より効果的な

方法がないか、情報があれば今後の参考にしていきたいです。

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

平安さん：一番は区民の方が喜んでくれることです。組織ができる前は、主に地域の生産組合で管理していましたが、予算や人員などの関係で修理が追いつかず、農業用水等のトラブルが非常に多かったですが、多面の活動が始まって、修理や点検を定期的に行うことができ、今ではほとんどトラブルがなくなりました。村内の他の地域からも「宮城はすごいね」と声を掛けられることもあり、とても誇らしく感じています。

金城さん：私は地域の方との交流ができたことです。新型コロナウイルスの影響で地域の行事もほとんどできない状況の中で、この活動は私にとって地域の方と交流できるとても貴重な機会になっています。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

平安さん：これから大事なのは、いかに次の世代に繋いでいくか、若い世代を巻き込んでいくかだと思っています。

佐藤さん：高齢者が多い中で、私たちもいつまで活動に参加できるかわかりません。私たちが持っている知識やノウハウを次の世代に引き継がなければ、いざ私たちが活動に参加できなくなった時、何をすべきか、どう活動するのか、誰も分からない状況になりかねません。

平安さん：だからこそまずはこの活動を知るきっかけにするためにも、幅広い年代が参加できる活動を増やしたいと考えています。具体的には宮城区は縦に長い集落なので、その特性を活かしてフラワーロードを作れたらと考えています。

【東村役場：農林水産課】

編集担当 SDGs コメント

活動で取り組まれている赤土流出防止対策は、粒子が細かい赤土が雨によって海洋へ流出し、海洋汚染やサンゴを含む海の生態系に悪影響を与えることを防ぎます。このため、目標6(地域における水質を保全する)や目標14(海洋・海洋資源を保全する)に貢献しています。

きれいな海や生態系をこれからも守っていただきたく、応援しています！



etc.

■3. 小学生向けに学習コンテンツを公開！

~~マンガや動画で農業や農村、農業遺産等について楽しく学びませんか~~■

農林水産省は、こどもたちが農業や農村の大切な役割や魅力を楽しく学べる学習マンガ「ミーとトラの大冒険日本の農業と伝統文化」を制作しました。また、学習マンガに加えて、「農業遺産」や「田んぼの魅力」を伝える動画も制作しました。これらの学習マンガや動画は、全国の教育現場やご家庭での学習教材として無料でご利用いただけます。ぜひご活用ください！

▽学習教材の紹介▽

【学習マンガ】

農業や農村の魅力を学べる学習マンガ「ミーとトラの大冒険日本の農業と伝統文化」を制作しました。この学習マンガは、好奇心旺盛なネコの「トラ」がタイムスリップし、それぞれのシーンで出会う小鳥やカエルなどの生き物から、農業や農村の魅力を教えてもらうストーリーです。



(学習マンガのポイント)

- 各ページの欄外にマンガ情報を補完する豆知識を記載し、動画「ニッポンの農業遺産」「のぞいてみよう！田んぼの世界」や関連するウェブサイトへのリンクを掲載しました。
- 保護者向け解説資料として、マンガに関連するより詳しい情報(全12ページ)を掲載。マンガをきっかけに子どもたちの興味・関心を高める工夫をしました。
- 小学校4年生以上の児童の家庭用学習教材として利用できます。

【動画・学習用スライド】

2種類の動画コンテンツ「ニッポンの農業遺産」、「のぞいてみよう！田んぼの世界」と農業遺産に関する学習用スライドを作成しました。

◎ニッポンの農業遺産（10分24秒）

[ニッポンの農業遺産 - YouTube](#)



農業遺産地域の魅力や文化等を楽しく学べる内容の動画・学習スライドです。小学校の「社会科」や「総合的な学習の時間」の授業で活用できます。

◎のぞいてみよう！田んぼの世界（10分16秒）

[のぞいてみよう！田んぼの世界 - YouTube](#)



田んぼの魅力や生き物の生態、田んぼの機能を魅力的に紹介し、これから学ぶ農業の学習の動機づけになる動画です。農業学習の導入や、田植え体験の事前学習などで活用できます。

▽詳細▽

株式会社 NHK エデュケーショナルホームページよりご覧いただけます。

<http://www.nhk-ed.co.jp/business/kyozai/nougyou>



【（農林水産省補助事業、実施主体：株式会社 NHK エデュケーショナル）】

■ 編集後記 ■

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年初のメルマガですが、昨年までのメルマガとどこが変わっているかお気づきでしょうか？そうです！SDGs コメントというものを私から入れさせていただきました。SDGs と本交付金の活動は深い関わりがあります。普段の活動が実は SDGs の目標の達成に貢献しているのだと知ってもらうことで活動継続のモチベーションを高めてほしいと思い、本号から入れていくことにしていますのでご期待ください！

それでは次号もお楽しみに！



◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300 字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：近藤、藤原）
TEL：03-3502-8111（内線 5493）